勞働の後

企畫院書記官　奥村喜和男

○ 一人の力

歐米各國出張の途、伊太利に滯在して痛感したことは、一人の力がかく迄國家を發展せしめ得るものかといふことであつた。即ち、ムツソリニ治下十五年になる伊太利國家興隆の姿に對する驚異であつた。世界大戰後の伊太利は、名は戰勝國であつても、その實は戰敗國同樣のみぢめさであつた。財政は紊亂し、秩序は破壞し、產業は衰へ、國民は希望を喪つてゐた。この秋、出でて國を救つたのが即ちムツソリニである。

當時、伊太利には共產黨がはびこつて居り、資本家と勞働者は相對峙して鬪爭をつづけて居つた。ムツソリニはこれに一大鐵鞭を降し、ストライキと工場閉鎖を嚴禁した。彼は階級の鬪爭を排して國民の協調を力說した。ムツソリニは共產黨の運動を目して、勞働者が恰も國家の外にあつて、國家を自分達の權力の下に征服しようとする企てであるとした。勞働者は國家の外にゐて、國家そのものと對立しようとしてゐる。これは根本的に間違つてゐる。勞働者にとそ祖國があるのだ、勞働者を國家に呼び戻さねばならぬ、として、彼は有名な伊太利勞働憲章を制定した。伊太利の勞働者はムツソリニによつて救はれた。

○ 勞働者を國家の中に

伊太利の組合大臣ボツタイはこう言つて居る。「歷史的に考ふれば、デモクラシーも亦、その歷史的職能を果して居る。佛蘭西革命前の專制國家は、唯君主と僧侶と貴族との國家であつて、いはゆる當時のブルジョワー即ち市民はその外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ テスビの事

「勞働の後」には種々の施設があるが、その第一は慰安の爲めのクラブである。各職業別に又、地方地方に國費を以つてクラブを立て、そこには勞働者がスポーツを爲す設備を設け、撞球も出來ればの外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。

ファツショ國家は今や勞働者を國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』の模倣であつて、その着想と成果をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ テスビの事

「勞働の後」には種々の施設があるが、その第一は慰安の爲めのクラブである。各職業別に又、地方地方に國費を以つてクラブを立て、そこには勞働者がスポーツを爲す設備を設け、撞球も出來ればの外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。

ファツショ國家は今や勞働者を國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』の模倣であつて、その着想と成果をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ テスビの事

「勞働の後」には種々の施設があるが、その第一は慰安の爲めのクラブである。各職業別に又、地方地方に國費を以つてクラブを立て、そこには勞働者がスポーツを爲す設備を設け、撞球も出來ればの外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。

ファツショ國家は今や勞働者を國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』の模倣であつて、その着想と成果をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ テスビの事

「勞働の後」には種々の施設があるが、その第一は慰安の爲めのクラブである。各職業別に又、地方地方に國費を以つてクラブを立て、そこには勞働者がスポーツを爲す設備を設け、撞球も出來ればの外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。

ファツショ國家は今や勞働者を國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』の模倣であつて、その着想と成果をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ テスビの事

「勞働の後」には種々の施設があるが、その第一は慰安の爲めのクラブである。各職業別に又、地方地方に國費を以つてクラブを立て、そこには勞働者がスポーツを爲す設備を設け、撞球も出來ればの外に立つてゐた。これを國家に編入したものは佛蘭西革命であつて、デモクラシーの功績である。

ファツショ國家は今や勞働者を國家內に編入して彼等が國家を征服せんとする危險を防ぐものである」と。

勞働者を國家に呼び戻さんとして設けられたものの一つに、ドポラヴオーロ即ち「勞働の後」といふ制度がある。この制度は勞働者の慰安、修養、福祉を圖る目的のものであるが、その思想は勞働者に勤勞心を涵養し生き甲斐を感得せしむる爲めには、一方に於て勞働の國家的意義を鼓吹すると共に、他方勞働の餘暇を面白く樂しく有意義に利用せしめんとするものである。伊太利勞働者をして國家に立ち戻らせる與かつて力のあつた制度である。近頃、ヒトラーの勞働政策として世界に聲名となつた所謂クラフト・デユルヒ・フロイデー『歡喜による力』――も實にこのムツソリニの『勞働の後』の模倣であつて、その着想と成果をヒトラーが借用したのである。この趣旨の勞働福祉制度は今や世界各國に採り入れられんとしつつあるが、その著作權者は獨逸にあらずして、伊太利なのである。

○ 兒童保護

次の「勞働の後」の仕事は旅行である。伊太利は世界に知られた藝術の國である。如何なる都市にもルネツサンス時代の名畫や彫刻や建築のない所はない。世界各國から見物に來る所以である。然るに、伊太利の勞働者はこれを見て來京都や大阪を見たことのないと同樣である。ムツソリニは斯樣な事では不可なりとして、日曜日毎に臨時列車を出し七割引の汽車賃で國內各地の見物をさせて居る。この外、病身な子供に對する保護施設も怠りない。

勞働者の子供であつて身體の虛弱なものに對しては、國家が每夏一ケ月間海岸に於て保養させる。夏休みになると、無料で勞働者の子供を臨時列車で海岸に送つて體育の養成につとめさせて居る。

○ 仁愛の政治

かうした勞働者の憂苦をいたはる仁愛の政治がムツソリニのファツショ政治の一斷面なのである。初步的な社會政策すらも色々の摩擦を受けて實施されることの困難な日本の現狀を想ふて、私は憂鬱な事ではあるが、私は憂鬱な事ではあるが、ムツソリニは伊太利の社會政治家とは考へられてはゐない。五千萬伊太利人の心を把んだ眞の意味の民衆政治家なのである。

「協調」購讀希望に就て

一ケ年分六十錢也振替郵便又は小爲替にて協調會現申込スリます。送料は要りません。寄贈の方もなるべく申込むより額ひます。百人以上の團體申込は實費提供致します。

日滿の契り固し

藤岡市外古賀岡部鐵工所長岡部榮氏の

李鴻揚氏

藤岡市外古賀岡部鐵工所長岡部榮氏の滿洲國教育視察團一行二十三名が十月十七日協調會を訪れた。會內を見學、町田常務理事より勞資問題に就て懇切なる說明を受け、夕餐を共にし、勞資問題に對する質疑應答やら、日滿の將來に對する抱負の披瀝やらで歡談に花を咲かした。

問題省省庁省縣學　沈振　遠氏

私は藤岡岡部鐵工所を拜見した日本蓋業界進の原因である事を知り、更らに此方に來て岡部先生の指導精神が日本蓋業界に如何に偉大なる貢獻をなして居るかを知りました。私は滿洲に於ける教育は岡部先生の精神でやらうと思ふ。教育の道は他なし、實踐躬行、たゞ身を以て行ふ事にあると信じます。

新京特別市立女子中學校教員

日本の土を踏むとすぐ感じた事は、日本人が勉勉であると云ふ點である。門司、東京間の汽車から眺めた感想でも老若男女を問はず勉勉である。そして工場、其の他の方面を見學して得た所は日本人の勞働は單に自分の爲のみではなく、國家の爲であると云ふ精神が强く强つて居る事である。あの精神を以て戰場に臨むのであるから日本人は强い譯である。此の國家奈仕の精神私は之を以て滿洲の若い人を導きたいと思ふ。

來賓省立沙鎭柴初級中學校長　**蔡希文氏**

私は日滿親善の必要に就て一言述べたい。滿洲から日本に來て見ると實に安逸の感がある。こんなに近くに日本人のあることを今回の旅行でやつと知つた。日滿が地理的に斯く接近して居ると云ふ事は日滿親善の第一の要素である。更に日本の文字と滿洲の文字は同一である。甲板、汽車の示標等何の不自由もない。亦風俗習慣も非常に近い。私は今度の旅行で皆さんが心から歡迎して下さるのを知つて感激に堪へない。日滿は今後ともどうしても提携協力して行かねばならぬ事を沁々痛感して居る。私の生徒の對する國家のお土產は唯之である。

哈爾濱省兩級女子中學校長　**蔡正是氏**

現在の世界は白色人種と有色人種との二分され、白色人種が世界を支配して居る樣に思はれて居るのは、實に遺憾に堪へられない。有色人種に劣つてゐようとは考へられない。農業に於ても、工業に於ても其の他の事に於ても決して劣つて居るとは信ぜられない。殊に精神文明に於て詰つて赤化したのである。ロシヤは文化に行年前に設立されて日本の精神文化に貢獻した所多大である。關岡の岡部鐵工所では勞資協調が理想的に行はれて居るが、歐米では不協調が原因である。此の勝れた精神文明に基いて日滿の協調を圖りたいと思ふ。而して東洋人の幸福は東洋人の手で建設したい。是は何も日人種を排斥しようと言ふのではない。東洋の建設は東洋人の手でなすべきであると言ふのである。要するに現下最大の必要は貿力の養成である。しかうして其の爲には日滿の提携が絕對根本である。

齊齊哈爾工業學校教員　**趙思普氏**

非常に有難いお話を拜聽いたしました。私の着想を印象を申上げて御批判を仰ぎたいと思ふ。滿洲國の教育は自主獨立を重んずることに全力を傾注して居るが、私は進んで滿洲國の教育は日本に勞資問題に於ては、日本人が勉勉であると云ふ點である。門司、東京間の汽車から眺めた感想でも老若男女を問はず勉勉である。そして工場、其の他の方面を見學して得た所は日本人の勞働は單に自分の爲のみではなく、國家の爲であると云ふ精神が强く强つて居る事である。あの精神を以て戰場に臨むのであるから日本人は强い譯である。此の國家奈仕の精神私は之を以て滿洲の若い人を導きたいと思ふ。

來賓省立沙鎭柴初級中學校長　**蔡希文氏**

私は日滿親善の必要に就て一言述べたい。滿洲から日本に來て見ると實に安逸の感がある。實に安逸の感がある。更に日本の文字と滿洲の文字は同一である。甲板、汽車の示標等何の不自由もない。亦風俗習慣も非常に近い。私は今度の旅行で皆さんが心から歡迎して下さるのを知つて感激に堪へない。日滿は今後ともどうしても提携協力して行かねばならぬ事を沁々痛感して居る。私の生徒の對する國家のお土產は唯之である。

哈爾濱省兩級女子中學校長　**蔡正是氏**

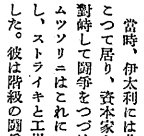
現在の世界は白色人種と有色人種との二分され、白色人種が世界を支配して居る樣に思はれて居るのは、實に遺憾に堪へられない。有色人種に劣つてゐようとは考へられない。農業に於ても、工業に於ても其の他の事に於ても決して劣つて居るとは信ぜられない。殊に精神文明に於て詰つて赤化したのである。ロシヤは文化に行年前に設立されて日本の精神文化に貢獻した所多大である。關岡の岡部鐵工所では勞資協調が理想的に行はれて居るが、歐米では不協調が原因である。此の勝れた精神文明に基いて日滿の協調を圖りたいと思ふ。而して東洋人の幸福は東洋人の手で建設したい。是は何も日人種を排斥しようと言ふのではない。東洋の建設は東洋人の手でなすべきであると言ふのである。要するに現下最大の必要は貿力の養成である。しかうして其の爲には日滿の提携が絕對根本である。

齊齊哈爾工業學校教員　**趙思普氏**

非常に有難いお話を拜聽いたしました。私の着想を印象を申上げて御批判を仰ぎたいと思ふ。滿洲國の教育は自主獨立を重んずることに全力を傾注して居るが、私は進んで滿洲國の教育は日本に勞資問題に於ては、日本人が勉勉であると云ふ點である。門司、東京間の汽車から眺めた感想でも老若男女を問はず勉勉である。そして工場、其の他の方面を見學して得た所は日本人の勞働は單に自分の爲のみではなく、國家の爲であると云ふ精神が强く强つて居る事である。あの精神を以て戰場に臨むのであるから日本人は强い譯である。此の國家奈仕の精神私は之を以て滿洲の若い人を導きたいと思ふ。

來賓省立沙鎭柴初級中學校長　**蔡希文氏**

私は日滿親善の必要に就て一言述べたい。滿洲から日本に來て見ると實に安逸の感がある。實に安逸の感がある。更に日本の文字と滿洲の文字は同一である。甲板、汽車の示標等何の不自由もない。亦風俗習慣も非常に近い。私は今度の旅行で皆さんが心から歡迎して下さるのを知つて感激に堪へない。日滿は今後ともどうしても



一而全

協調會產業福利部　高岡實

近頃は少し吐絕えた樣だが連日の出征軍人を見送るのは誠に感慨無量であつた。恩愛の情斷ち難い親兄弟妻子知友を後に殘し、而も猶ほ敢然等が勇んで國家のため壯途につく勇士達の姿を見ることは悲愴と云はんか、壯絕と云はんか吾々こゝに深く感ずる所あるのである。

個人生活の社會性

一體個々者は單獨にては生活し得るものでなく、常にその背後に社會性を擔ひ、その成員として生活し得て來たのである。人間生活の生成發展の跡を見ても、最初は血統團體たる氏族から種族へ、種族から民族へと次第に高度の社會群が合體運衝し、常に社會性を纏綿しつゝ地緣的政治的條件を授として今日の如き近代國家を形成したのである。從つて、個々の生活は夫々の段階に於ける社會を前提としてのみ眞實に理解されまた可能ともなる。殊に現代生活の如く經濟的にも文化的にも他者への依存交作の關係が複雜なる時代にあつてはその社會性は極めて緊密と云はねばならぬ。茲に於て個々者の生活は全體社會の意圖に從ふことに依つてのみ社會的に是認され、全體意志に背馳することに依つて排斥せられる。

全體が目的である

即ち、かく是認或は排斥せられる所以は共處に社會規範が存在するからである。個々者がこの社會規範に即つて行動することが社會道德である。個々者は事の大小を論ぜず、全體社會を毀傷する如き自由行動をなすことは可能ではある。乍然ら、社會規範は個々人が負ふ社會性に基きかゝる個人的自由行動を自制し、全體社會の幸福のために積極的に汲入奉仕することを要求する。かゝる要求は全體を活かすために要求せられ全體自體が目的夫自身である。從つて、全體のために奉仕貢獻することが結局個々者を利益するから斯くなすのではなく、社會成員として全體社會のため當然斯くすべきが人間生活の本質であるからである。故に之は純粹に倫理的自覺に依るものである。全體を活かすことが結局平實として自己を利する場合もあらう。乍然ら、飽迄も自己が目的ではなく、全體が目的である。

個性の活きる道

かく見ると、一見如何にも個々者は全體のため抹殺せられ、個性ある獨自の活動の餘地がないかの如く思はれる。乍然ら眞實は之とは逆である。個々者は全體あつての個々者であり、全體の一部としての個性を持つ。從つて、全體の線に沿つて個性を活かすことこそ眞に個性を活かす所以である。即ち個々者と全體との關係は一而全である。例へば、人間の身體の機關を考へて見るがいゝ。四肢は全體人間の手足としてのみ意義がある。いま四肢が人間の全體意志による中樞神經から逸脫して勝手な運動をしたならば、之は人間手足としての用をなさない。手足としての個性を眞に活かすためには、その運動が全體意志に沿ふ限りに於てゝある。故に個々者は各自の持場を全體社會の上から自覺し、その上に立つて自分の持場を活潑に活かすことが結局個性を活かす所以となる。即ち、かくすることが人間生活の社會道德である。

社會狀勢の要求

竹つて個人的自由主義は資本主義の溫床であつた。こゝで自由競爭に依つて他者や社會の迷惑損傷をも顧みず、たゞ個人に個人の利益のために之努めて來た。この結果は大いなる社會不安を招來し、之に對抗するため同一階級に屬する者が團結して自己の利益擁護のため抗爭する團體主義が現はれた。この團體主義も特定の階級に立脚する限り結局個人主義と同巧異曲に過ぎない。從つて社會不安を消滅せしむることなき事は勿論である。茲に於て、新なる社會情勢は社會の凡ゆる階級を包攝した全體社會に立脚し、各成員の持場〳〵に於て全體のため貢獻奉仕すべきを要求しつゝある。之は前二者が經濟に眼を置くに對して、極めて倫理的な立場であつて人間生活の本質に置礎したものといふ點に特色がある。かゝる思想は何も殊新しいものではないが、新なる社會情勢によつて之が實現を要求しつゝある點に特別の社會的意義を見出し得る。

たゞこゝで注意すべきは、かゝる全體意識は之を社會の一部或は特定の階級にのみ要求することはその本質に背反するのみならず、現實的には惡うしき僞瞞策であり社會不安を一方的に深化させる結果となる。かゝる全體意識は當該社會成員が擧つて自覺し實踐し、自己の社會分擔に於ける當然の責務を忠實虛心に融行することに依つてのみ始めて所期の目的を達し得る。茲に於て國家は之が實現を促進すべき政治・經濟・勞働・文化等の諸政策を樹立する必要がある。

最高の名譽を擔ふ者

敍上の如き思想を說き或は之を日常生活に於て活かすことは左して困難ではない。何故ならば日常に於ては道德的責任のみで、決して生命に關はりはないからである。吾々はこの全體意識の最も端的な實踐者、即ち自己の生命を賭して國家に貢獻せんとする最高の名譽を出征兵士の頭上に冠したい。出征兵士の戰場に於ける行動は實にこの國民としての道德の至上の表現である。吾々は之等の勇士に對し滿腔の感謝感激を惜まないと同時に謹んで最上の尊敬を捧ぐるものである。

☆　☆　☆

☆　☆　☆

團長齊藤官金鑑賞氏よりも御挨拶あり。來賓金重應調者官吏原美能留氏日本側を代表して五族協和に於ける消費に則つて日本人の本意的實行力と滿洲人の熱揚たる寬大性との協調にある點を力說せられ一同名殘を惜しみつつ散決した。